

説明会意見記入用紙による意見

校区	意見・質問	回答
榕城1	意見です。市長は反対だったはずですよ。「市民の意見を聞いた上で、自分が決める？」あなたは独裁者ですか。反対以外の意見に変わったのなら、潔く一度辞めて市民の信を問うべきです。このまま市長の座に居座り「容認」したならば孫の代まで恨まれますよ。	これまでの防衛省との協議の場を踏まえ論点を整理し、課題解消のため7/22に防衛大臣へ確認事項を提出し、8/10に回答を受けたところです。その回答は8/16～8/22にかけ市民の皆様へ説明しご意見を賜りましたが、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。
榕城1	FCLPは訓練であり、何も自衛隊基地でもなくてもいいのです。硫黄島は遠いことと、不測時の着陸できる飛行滑走路があることが条件。小島を核にして飛行場を作るし、中国の人工島のように、島を繋いだ建築も出来るでしょう。いつまでも国民の厄介な物を作らないで欲しい。それが恒久的な施設と思う。	貴重なご意見として承ります。いただいたご意見は、防衛省へおつなぎします。
榕城1	・「日米地位協定のあるべき姿を不断に追求していく」とある。この回答を市長はどのように受け止めるか？	日米地位協定に関してはさまざまな課題があると認識しています。全国知事会におきましても、航空法などの国内法を原則として米軍に適用させることなどを求める決議書を決議しています。こうした状況もふまえ、国においては、一層積極的に取り組んでいただきたいと思います。
榕城1	・トーチカ・学校跡地を残すためには受け入れない事だと思う。絶対受け入れられない、失うものが大きいとの姿勢を貫くべきだが、その姿勢は？	これまでの防衛省との協議の場を踏まえ論点を整理し、課題解消のため7/22に防衛大臣へ確認事項を提出し、8/10に回答を受けたところです。その回答は8/16～8/22にかけ市民へ説明しご意見を賜りましたが、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。 トーチカなどの戦争遺構は、市史編さんの策定もあり、現地調査をさせていただきよう防衛省へ求めています。
榕城1	・周辺自治体に対する騒音、飛行に対する配慮はどうなっているのか？他地域でも問題になっている。 ・ぜひ硫黄島に行って、見てください。	防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであることに加え、島の静穏度の高さから、住民の不安は大きいと考えています。特に、高齢者や障がいのある人、それを支える人たちから、睡眠への影響等、体調の変化を危惧する声もあり、多大な不安があると捉えています。このことから、本市では、確認事項や環境アセスの意見書において、西之表市上空や早朝及び夜間・祝祭日に飛ばない対策を求めたところであり、騒音に係る不安解消のため引き続き防衛省と協議を重ねていく必要があると判断しています。 防衛省から硫黄島での騒音確認は、硫黄島から10km程度離れた海上での騒音確認は絶海の孤島であり難しいと説明を受けています。
榕城1	・西之表市民の方が、本当の騒音の程度を知っているのか、大変疑問に思います。 ・前回のデモ飛行は最低だと思いました。東京の横田基地の近くに10年在住、厚木基地の近くで、公共工事を長くした。FCLPの実際の経験者の意見です。	馬毛島でのデモフライトについて、防衛省に対し、より実態に近づけた飛行ということで、夜間飛行や、運用時の様々な飛行機を、最大限想定される飛行範囲及び経路で飛行していただくよう要請しましたが、馬毛島において管制塔が整備されておらず、夜間飛行はパイロットの安全確保が困難との理由で、実現できなかった経緯があります。 本市においても、デモフライトによって、騒音の全てが把握できたとは考えていませんが、協議の場において岩国飛行場の視察を行うなど情報収集に努め、飛行場周辺の騒音測定結果を馬毛島日より等で周知したところであります。 引き続き、騒音問題など情報提供に努めてまいりたいと考えています。
榕城1	どのような条件でも、基地建設は反対です。トーチカ・学校跡地をなくすことは馬毛島の歴史を消し去ることです。戦争で平和は守れません。	本市や馬毛島の歴史を後世につないでいくことは極めて重要な事です。そのため、トーチカなどの戦争遺構は、市史編さんの策定も踏まえ、現地調査をさせていただきよう防衛省へ求めています。
榕城1	市長、毎日ご苦労様です。絶対に負けないでください。市長を信じて最後まで応援致します。	今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
榕城1	・基地ができることを前提に質問されており、南西諸島の島々の不安を払拭できない。（どのような法律でも、きれいごとを並べても、人の命は救えません。島国日本で大陸と対戦できると思えません。日本は、種子島は目を覚ますべきだと思えます。）	これまでの防衛省との協議の場を踏まえ論点を整理し、課題解消のため7/22に防衛大臣へ確認事項を提出し、8/10に回答を受けたところです。その回答は8/16～8/22にかけ市民へ説明しご意見を賜りましたが、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。

榕城1	・ I の2の質問に対しての防衛省の回答を鵜呑みに出来るとは思えません。基地を作ったら話し合いはありません。	・ 貴重なご意見として承ります。いただいたご意見は、防衛省へおつなぎします。 ・ 今般の確認事項に対する回答内容は、防衛省が示した対応方針となります。防衛省においては、内容を遵守していただけるものと考えています。
榕城1	VI日米地位協定は防衛省の回答に疑問を感じます。誠意が見えませんが、同意できません。	・ 貴重なご意見として承ります。いただいたこのご意見は、防衛省へおつなぎします。 ・ 今般の確認事項に対する回答内容は、防衛省が示した対応方針となります。防衛省においては、回答内容について、誠意を持って対応していただけるものと考えています。
榕城1	防衛省の答えは具体的ではないものばかり。平和を願っていますが、その為にすることも人によって分かれてしまいます。馬毛島を守る。基地は作らせないで下さい。	貴重なご意見として承ります。いただいたご意見は、防衛省へおつなぎします。
榕城1	防衛省からの回答は予想通りの回答です。もっと責任ある回答を引き出すことに注力してください。市長には当初の考えを貫いて欲しい。	これまでの防衛省との協議の場を踏まえ論点を整理し、課題解消のため7/22に防衛大臣へ確認事項を提出し、8/10に回答を受けたところです。その回答は8/16～8/22にかけ市民へ説明しご意見を賜りましたが、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。 なお、今般の確認事項に対する回答内容は、防衛省が示した対応方針となります。防衛省においては、回答内容について、誠意を持って対応していただけるものと考えています。
榕城1	基地ができると思うから、この様な会合になってしまう。市長がはっきり「私が市長しているうちは、基地はできません。安心してください。」と言ってください。その為に八板さんを推しました。	今般の説明会での市民の皆様のご意見も踏まえながら、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。
榕城1	・ 基地ができる前提の説明ですね。基地はいらないのです!!できてはいけません。 ・ 市長さん、防衛省の回答に満足しておられないはずですよ。ぜひ「ノー」と答えてください ・ 未来の者たちに沖縄の現実を押し付けてはいけません。	今般の説明会での市民の皆様のご意見も踏まえながら、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。
榕城1	・ 国との協議・確認により、新たな確約は何も得られなかったと理解しました。世界情勢が緊迫する中、標的になる危険を負う一点だけでも、十分に反対する理由になると思います。物言わない言えない、子ども未来の住人の声も聞いてください。	貴重なご意見として承ります。今後も市民の皆様への不安等払しょくできるよう、防衛省と引き続き協議を重ねてまいります。併せて、今般の説明会での市民の皆様のご意見も踏まえながら、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。
榕城1	反対の方々は騒音や日米協定がダメとか言っているが、市民を守る、日本を守ることを考えて判断してほしい。	防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであり、騒音や安全等、市民においては、多大な不安があると捉えています。このことから、本市では市民の皆様への不安解消のため引き続き防衛省と協議を重ねていく必要があると判断しています。 独立した国において、国防は、不可欠な政策であります。市民生活を脅かさず、市民の安心・安全を高めていく政策で、市民の理解が得られる範囲であれば、協力していく必要があると判断しています。また一方で、首長の立場として、市民の生命と財産を守り、市民生活の福祉の向上を目指していくためには、必要があれば国に対して意見を述べていくことも、市民に対する当然の責務であると考えています。
榕城1	基地ができるということは、戦争につながる。戦争につながる一切の事柄は戦争体験の私はダメです。交付金などを当てにする人は愚かなこと。大事な種子島の人は生きています。92歳女性	貴重なご意見として承ります。今後も市民の皆様への不安等払しょくできるよう、防衛省と引き続き協議を重ねてまいります。併せて、今般の説明会での市民の皆様のご意見も踏まえながら、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。
榕城1	八板市長さんが市民の不安を払拭する為に努力されている事に感謝します。	今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
榕城1	確認事項に対しての防衛省の回答の中に一つでも住民の安心安全が守られる！という回答がありますか？話になりません。もう一度、防衛省にきちんとした回答を求め、再度説明会を行ってください。会話が成り立つ説明会にしてください。	これまでの防衛省との協議の場を踏まえ論点を整理し課題解消のため、7/22に防衛大臣へ確認事項を提出し、8/10に回答を受けたところです。 引き続き、市民の皆様への不安解消に向け、防衛省と協議してまいります。

榕城1	昨日は終戦記念日でした。テレビでは戦争の生々しさ、戦場に出てられた方は思い出したくない、言えないことがいっぱいある。ほとんどの人が政府の主張を信じて戦った人だが、亡くなるまで一生抱えて生きてきたし、いくと言っていました。戦争は絶対ダメです。目を覚ましてください。戦いから何も生まれないです。戦いは勝たなければいけないと言っていますが、勝った国の兵士は生き返るのですか？戦争につながることはダメ。	貴重なご意見として承ります。いただいたご意見は、防衛省へおつなぎします。 また、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。
下西	市民の意見を聞いて市長の判断に生かしたいと考えているのなら、もっと実情を市民に知ってもらう必要があると思います。 説明会に来ている人も少なく、もっと周知したり、住民が参加しやすく意見を言いやすい環境を整える必要があると思います。 どんなことが起ころうとしているのか知らない人、危機感のない人がとても多く、このまま計画が進んだら思ってもみなかった変化に驚き、後悔することになると思います。	ご意見のように、市ホームページや馬毛島だより等にて積極的に情報提供に努めてまいりたいと思います。併せて、市民の皆様が発言しやすい環境づくりについても、引き続き検討してまいります。
下西	市民の方々の色々な意見を聞き、とりまとめていくのは大変だと思えます。 早く賛成派、反対派関係なく仲良く暮らせる西之表市に戻ってほしいです。 笑顔あふれる西之表市が好きです。 八板市長さん、大平副市長さん、企画課の皆さん、その他の皆さん体調に気をつけて頑張ってください。	今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
下西	いろんな面において死活問題がたくさん。これからもでてくると思えます。しんけんに考えて、行動もしていつて欲しいです。弱い人の身を本当に心にとめて、これからの種子島を守っていつて欲しいです。これからの子供そして種子島のために。	今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
下西	防衛省の回答の1ページ目に年1、2回の深夜、早朝に離着陸訓練が行われるとあります。深夜、早朝の騒音は安眠妨害となり、健康障害を引き起こしますので、深夜11時以降の訓練は止めていただきたい。 また、沖縄や岩国などでは騒音に悩まされていると聞きます。基地を抱えている県、市の意見にも耳を傾けてほしいです。（反対で当選した市長さんですので、反対を貫いてください）	防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであり、騒音や安全等、市民においては、多大な不安があると捉えています。このことから、本市では市民の皆様の不安解消のため引き続き防衛省と協議を重ねていく必要があると判断しています。 また、いただいたご意見は、防衛省へおつなぎし、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。
上西・国上	政府・防衛省と八板市長は共通の過ちを犯しています。それは本来、市民の理解と共感を得よう誠意と努力を尽くすべき手順を踏まえずに、独断的にことを進めようとしていることです。防衛省の拙速で強引な手法は云うに及ばず、市長も一部産業団体の意見聴取だけで、一般市民の意見聴取を一切行わず、また、協定を結んだ支援団体への説明もないまま、独断的に防衛省に対し「特段の御配慮」を要請するなど極めて安易で不誠実で軽蔑すべき行為です。 今頃、形式的な説明会や意見聴取をしても順序が逆で時すでに遅いです。	ご指摘は真摯にお受けいたします。また、今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
上西・国上	確認事項は21項目の表現は明らかに基地ができることを前提にした表現で、仮定の表現とはなっていません。これでは防衛省に対し「基本的に受け入れを了解するが、この点は留意、善処して下さいね」とお願いしているような印象です。これでは、失礼ながら防衛省にとって市長は赤子の手をひねるようなものではないのでしょうか。 市長は市民の声を聞いて決断したいと言っていますが、額面通り信頼して良いのか極めて疑問で、とても不安です。 市長を一生懸命支援してきた人達の気持ちを踏みにじらないで下さいね。	これまでの防衛省との協議の場を踏まえ論点を整理し課題解消のため、7/22に防衛大臣へ確認事項を提出し、8/10に回答を受けたところです。引き続き、市民の皆様方の不安解消に向け、防衛省と協議してまいります。 併せて、今般の説明会での市民の皆様のご意見も踏まえながら、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。
上西・国上	防衛省が独断的に既成事実を重ねているのは米軍からのプレッシャーもあるが、市長が甘く見られている証拠。市長には法廷闘争も辞さない位の強固な姿勢と理論武装が必要。そこで初めて対等な話し合いができる。	ご指摘は真摯にお受けいたします。また、今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。

上西・国上	様々な想定される課題をもとに市がまとめた確認事項に対する防衛省の回答について、市はどう評価し、何を問題として捉えているのかを説明してほしかった。 例えば市長は「得るものと失うもの」の考えを示しているが、それは、将来に向けてのリスクをどう考えるか」が大切な視点だと思う。そういうことから言うと資料2ページ確認事項8「基地の機能強化及び自衛隊や米軍の訓練の追加を行わないこと」は、前の防衛省の説明会でも将来的にオスプレイの話も出ていたし、米軍との共同訓練も想定され、防衛省の回答もそれを否定したものではないと思われる。 だが、確認事項は、前提として「市に説明することなく」とあり、防衛省も事前に御説明する」とある。これをどう評価するのか？これにより課題はクリアされたと考えるのか。 デモフライトが、住民にとって、騒音のめやすとされているが、デモフライトでは、離発着もしていないし、できるだけ騒音をおさえた飛行も可能だと思う。デモフライトの騒音によって、FCLPの騒音は許容レベルだと判断している島民も多い。もし、それがフェイクだった場合、どのように対処できるのか？ デモフライトによって生じた騒音の数値を確定し、公表すべき。何デシベル？でないといまいすぎて議論にならない。 FCLPの年間日程を限定するべき。いつ爆音がするのか？いつ爆音が終わるのか？いつまでガマンすればよいのか？ これがわからない場合地獄となる。 訓練日数、期間、時期を市として限定を要求してください。	貴重なご意見として承ります。いただいたこのご意見は、防衛省へおつなぎします。 今般の確認事項に対する回答内容は、防衛省が示した対応方針となります。防衛省においては、回答内容について、誠意を持って対応していただけるものと考えています。 デモフライト時の音の状況は、馬毛島だより（第3号・4号、市ホームページにも掲載）にてお示ししています。また、FCLPに係る訓練日数、期間、時期については、防衛省によると米軍の訓練であり公表できないとのことでした。
安納・伊関・安城	防衛省の回答は、全体的にあやふやなもので、この回答で住民の不安を払拭できると思ったのだろうか？ 住民をばかにしているのか！と思ってしまう。益々防衛省への不信感が強まった。	貴重なご意見として承ります。いただいたこのご意見は、防衛省へおつなぎします。
安納・伊関・安城	今回も参加者がとても少ない人数で、残念に感じました。問題は大きいものです。関心が低いというよりは何か自分達がこれから子孫の代まで関わってくことに直面しており、未来が自分達の手にあるという思いが薄いのかなと感じます。あきらめもあるのでしょうか？ 市職員の方は、賛成、反対の意見にはさまれ大変かと思いますが、より多くの市民に参加してもらえることをもっと考えていただければと思います。 ここに来ることがない人達の言葉をうけとめ、拾っていただけたらと思います。	ご指摘は真摯にお受けいたします。市が主催する各種会合等のあり方についても、多くの皆様に参加できるよう、効果的な開催について検討してまいります。
安納・伊関・安城	防衛省から西之表市民にとってポジティブな提案が多くなされたら、市長は建設賛成されるのですか？ 基地はいらないです。	これまでの防衛省との協議の場を踏まえ論点を整理し課題解消のため、7/22に防衛大臣へ確認事項を提出し、8/10に回答を受けたところです。引き続き、市民の皆様の不安解消に向け、防衛省と協議してまいります。 併せて、今般の説明会での市民の皆様のご意見も踏まえながら、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。
安納・伊関・安城	※各校区での説明会もして頂ける方が、人がもう少し来てくれると思った。余りにも人が少ないことにビックリした。 ・関心が無いのか？ ・前回の各校区説明会の方が多く集まっていたので。	ご指摘は真摯にお受けいたします。市が主催する各種会合等において、市民の皆様が参加しやすいなど、効果的な開催について検討してまいります。
安納・伊関・安城	全分まとめて1言で島に基地はいらない。ウクライナのようになる。	防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであり、ご意見のように安心・安全など、市民においては、多大な不安があると捉えています。 独立した国において、国防は、不可欠な政策であります。市民生活を脅かさず、市民の安心・安全を高めていく政策で、市民の理解が得られる範囲であれば、協力していく必要があると判断しています。また一方で、首長の立場として、市民の生命と財産を守り、市民生活の福祉の向上を目指していくためには、必要があれば国に対して意見を述べていくことも、市民に対する当然の責務であると考えています。

安納・伊関・安城	基地計画への賛成反対はおいておくとして、この確認事項と回答を冷静に見てみれば、この問いに対してこの回答というのは、あまりにもひどい。全然答えになっていないというのは誰の目にも明らかなのではないかと思います。今までの様々なやりとりを通して、また、市と防衛省が協議を重ねてきて、やっぱりこういうことだ。不安だ、心配だということを21項目にまとめて提出したと思いますが、その不安に正面から答えている回答がひとつありません。「～と認識しています。」「関係者と調整する考えです。」「適切に対応してまいります。」「のような言葉が並んでいますが、それは今までにさんざん聞いた上で、なお、不安がぬぐえないということ、市に、住民が安心できるような確約や適切な田泓の具体的な内容を求めたのに対し、安心材料を何一つ明示していません。訓練規模が拡大していくのではないかと不安に対して「拡大しない」とも「拡大する場合は市、住民の了承を得る」とも言いません。「説明する」というだけで、嫌だといっても拒否できないのなら、何の安心にもなりません。住民避難計画についても、計画の内容や時期など全く示されず、計画に協力すると言われても住民には判断しようがありません。これらは防衛省が住民のことを親身になって考える気がないということの表れだと思います。 計画に反対している人だけでなく、被害を被るのは住民全員なので、この確認事項と回答の内容について説明会や動画配信だけでなく、住民全員が知り、理解できるよう様々な方法で周知徹底した上で、住民の意見を聞く必要があると思います。	貴重なご意見として承ります。いただいたこのご意見は、防衛省へおつなぎします。今般の確認事項に対する回答内容は、防衛省が示した対応方針となります。防衛省においては、回答内容について、誠意を持って対応していただけるものと考えています。 市が主催する各種会合等のあり方についても、多くの皆様が参加できるよう、効果的な開催について検討してまいります。
榕城2	防衛省も国で基地建設はしよせん他人事。住民の事など知らんぶり。種子島の歴史も自然も知りません。この島で馬毛島もこのまま残していくことは、今の時代を生きている我々の使命です。	貴重なご意見として承ります。いただいたご意見は、防衛省へおつなぎします。
榕城2	市民の不安を少しでも解消してください。	防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであり、ご意見のように安心・安全など、市民においては、多大な不安があると捉えています。馬毛島問題に係る市民の不安が解消できるよう、引き続き防衛省と協議を重ねてまいります。
榕城2	自衛隊馬毛島基地にさせないで下さい。よろしく願いします。	貴重なご意見として承ります。いただいたご意見は、防衛省へおつなぎします。
榕城2	戦い（戦争につながる）基地など種子島も日本国中必要ないです。戦争は勝っても負けても物質的にも特に心理的にも、皆の背負って生きる出来事が発生しすぎ。過去の戦争においても当事者は生存されてなくても、子孫が背負うことになる。馬毛島は人は住んでいない。よって1つの国のようなもの、何をされても、しても何も言えない。種子島は鉄砲伝来の島、今戦争への火ぶたを切ってはいけな。プライドを持つとう！ 基地に対する交付金がないと、市の活性化はできないのか、助成金の勉強・調査し、町の活性化に努めてほしい。西之表市は助成金の勉強をしているなあーそれで町の活性化の勉強に他の市町村が研修に来るようになる。 ・基地はいらない！目を覚ましてほしい！ ・終戦は77年前に終わっている。 ・自分たちで働いて活性化します。	貴重なご意見として承ります。今後も市民の皆様の不安等払しょくできるよう、防衛省と引き続き協議を重ねてまいります。併せて、今般の説明会での市民の皆様のご意見も踏まえながら、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。
榕城2	防衛省の回答を本当に使用は信じますか？馬毛島に基地はいらない！と一言胸張って言ってください。	貴重なご意見として承ります。今般の確認事項に対する回答内容は、防衛省が示した対応方針となります。防衛省においては、回答内容について、誠意を持って対応していただけるものと考えています。
榕城2	防衛省の回答は、これまでの防衛省の対応を見ても信用することはできない。きっぱりと基地建設は認められないと回答すべきです。	貴重なご意見として承ります。今般の確認事項に対する回答内容は、防衛省が示した対応方針となります。防衛省においては、回答内容について、誠意を持って対応していただけるものと考えています。
榕城2	・住民、皆の関心事なのに、榕城校区でさえ1回目40人位、今回も50人そこそこの参加です。住民皆が平等に聞く機会を設ける手立てを考えられたのでしょうか？市民会館に来られる方は限られています。集まりなさいではなく、地元へ出向いて説明されるのが丁寧な対応ではないでしょうか。皆の意見を聞く機会を設けるということはないのかな。そこまでして知らせる内容ではないということだったのでしょうか。 ・マスコミや大臣を利用して国の問題として取り上げてほしい問題です。今からでも遅くないと思います。	ご指摘は真摯にお受けいたします。今般の住民説明会については、コロナ感染拡大の中、実施可否について区長会のご意見も賜りながら、感染予防に十分配慮した形での実施を心掛けたところです。感染予防のため広い会場での実施ということで市民会館ホールでの説明会となりましたが、市街地から遠く離れている地区においては、参加について大変なご負担があったものと思われます。市が主催する各種会合等のあり方についても、多くの皆様が参加できるよう、効果的な開催について検討してまいります。

榕城2	防衛省回答では理解は得られない。建設は反対です。	貴重なご意見として承ります。今般の確認事項に対する回答内容は、防衛省が示した対応方針となります。防衛省においては、回答内容について、誠意を持って対応していただけるものと考えています。
榕城2	説明会において、防衛省の回答としては地位協定のある限り、あれ以上の回答は出来ないと思います。アメリカとの約束で馬毛島FCLP発着訓練基地として決定した以上、又、今まで自由で平和な種子島いや日本を守っていく上でも必要なことではないかと思えます。いろんな意味での西之表（種子島）の将来、ましては日本の安全・安心な国であるためにも、市長の判断を期待します。	貴重なご意見として承ります。今般の確認事項に対する回答内容は、防衛省が示した対応方針となります。防衛省においては、回答内容について、誠意を持って対応していただけるものと考えています。併せて、今般の説明会での市民の皆様のご意見も踏まえながら、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思えます。
榕城2	・最初の方の質問に対して市長は、「市民の意見を聞いて、私の考えを述べる」と答えました。「住民投票は考えていない」と答えました。ということは、市としての最終決定は自分が行うということですか？ ・公約に反した行動をしている訳なので、辞任して再選挙又は住民投票をしてください。	ご指摘は真摯にお受けいたします。また、今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
榕城2	アメリカは日本の無人島に基地を作り、日本を守るためではない、アメリカを守るためじゃないでしょうか。自然がなくなり日本はアメリカ国になるんじゃないでしょうか。子どもや孫の事を思うと、何としても日本を守らないと。市長さん、馬毛島を思う皆さん頑張りましょう。	防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであり、ご意見のように安心・安全など、市民においては、多大な不安があると捉えています。馬毛島問題に係る市民の不安が解消できるよう、引き続き防衛省と協議を重ねてまいります。
榕城2	静かな島、これまでの種子島を守ってください。馬毛島基地などありません。米軍は約束を守りません。	貴重なご意見として承ります。いただいたご意見は、防衛省へおつなぎします。今般の確認事項に対する回答内容は、防衛省が示した対応方針となります。防衛省においては、回答内容について、誠意を持って対応していただけるものと考えています。
榕城2	虫の声、波の音が聞こえる静かな種子島。騒音がどんな音なのか、どれだけ生活が乱されるのか考えただけで悲しくなります。静かな島と思い帰ってきましたが、残念です。絶対に設置はしないようにお願いします。子どもにも帰ってきてといえませんが。米国は約束を守りません。	防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであり、ご意見のように安心・安全など、市民においては、多大な不安があると捉えています。馬毛島問題に係る市民の不安が解消できるよう、引き続き防衛省と協議を重ねてまいります。
榕城2	町づくりは100年単位でみる計画が必要だといった人がいます。私たちは次の世代に何を残すのでしょうか。自然豊かなこの島の島を軍事基地にしたいのでしょうか。ここに住んでいる人が知恵を出し合い、交付金に頼らない町づくりをみんなで考えていこうではありませんか。市長さんの判断にかかっています。後で後悔することのないように「同意しない」という市長さんの英断を信じています。種子島の歴史に永遠に残ることになります。	貴重なご意見として承ります。今後も市民の皆様不安等払しょくできるよう、防衛省と引き続き協議を重ねてまいります。併せて、今般の説明会での市民の皆様のご意見も踏まえながら、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思えます。
榕城2	「ここで聞いた意見が私の考えを形作る」という発言に違和感を覚えました。政治家として、ご自身の考えがあって、マニフェストを掲げて当選されているのが現市長です。選挙の時の公約は守るべきです。自身の考えがないのなら、現職から身を引かれるべきです。ご自身の考えを貫き通すことが、政治家として血税職の定めではないでしょうか。「反対」で貫き通すことができないのなら、「私の考えは変わった」と市民に説明する必要があると思います。馬毛島問題を市民が一番の選挙の際の選択のKEYにしていたことを分らないようであれば、市民感情を無下にしているとしか思えません。一票を投じた市民に真摯に向き合うべきです。「市長の考え」を私たちは聞きたい、知りたいと思っています。基地建設に対するご自身の考えを、ご自身の言葉で市民の発信してください！！市民へ面と向かって心からの対応を願います。賛成派・反対派の意見は置いておいて、市長の考えをお聞かせください。	ご指摘は真摯にお受けいたします。また、今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
榕城2	馬毛島問題に関しては「反対派」の人が集まるばかりで、賛成派の方々の参加がない。色々な状況を含めて、両方での意見交換をして、これからの種子島を考えてほしい。これからの永遠の「幸福」とは何か、共に考えてほしい。	ご指摘は真摯にお受けいたします。市が主催する各種会合等のあり方についても、多くの皆様が参加できるよう、効果的な開催について検討してまいります。
現和・立山	曖昧な回答が多い、具体性がない、これでは不十分なので、国・防衛省・米軍を西之表に呼び、約束をしっかりと決め、1つでも守られない場合、訓練の即中止・再発防止・原因の追究をさせなければならない。できなければ、馬毛島からの基地撤収をさせる市の条例を作ること。	防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであり、ご意見のように安心・安全など、市民においては、多大な不安があると捉えています。馬毛島問題に係る市民の不安が解消できるよう、引き続き防衛省と協議を重ねてまいります。

現和・立山	鹿鳴きて ススキのそよぐ広ら野に ムラグロ群れて わたりくる馬毛島（市長さんの歌です） 私は昔の馬毛島が頭から離れません。なんとか自然のままで残してほしいです。渡り鳥や馬毛鹿。とまり木がほしい、エサが欲しい。鹿も鳥も次は自分達です。	防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであり、ご意見のように安心・安全など、市民においては、多大な不安があると捉えています。馬毛島問題に係る市民の不安が解消できるよう、引き続き防衛省と協議を重ねてまいります。
現和・立山	意見です。発言しましたが、再度まとめておきます。 ・全ての市民が意見を表明できる手段を取ったうえで、市長としての判断をしてほしい。方法としては2つ 1、一度市長を辞任し、一市長候補として、自分の考えを示し、その後当選してから市長として判断してほしい。 2、基地建設の是非を問う住民投票を行い、その結果に沿って市長としての判断を示してほしい。以上	ご指摘は真摯にお受けいたします。また、今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
古田・住吉・中割	葉山港工事3月で終わり、すぐ自衛隊の基地の為の工事が始まります。市として結論を早く出すべきではないか。	貴重なご意見として承ります。今後も市民の皆様の不安等払しょくできるよう、防衛省と引き続き協議を重ねてまいります。併せて、今般の説明会での市民の皆様のご意見も踏まえながら、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。
古田・住吉・中割	基地ができたら、ここで子育てしたいとは思わない。基地が出来たら、子供に島に帰ってきてほしいとは思わない。わざわざ種子島に移住したいと思う人もいなくなると思う。一番大切な健やかに暮らせる環境を失うから。	防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであり、ご意見のように安心・安全など、市民においては、多大な不安があると捉えています。馬毛島問題に係る市民の不安が解消できるよう、引き続き防衛省と協議を重ねてまいります。
古田・住吉・中割	何度も防衛省とやり取りしてきた結果がこれだったという事。何回聞いても、はぐらかした答えしかくれないという事実を市民にしっかりと伝えるべきだと思います。	防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであり、ご意見のように安心・安全など、市民においては、多大な不安があると捉えています。馬毛島問題に係る市民の不安が解消できるよう、引き続き防衛省と協議を重ねてまいります。今般の確認事項に対する回答内容は、防衛省が示した対応方針となります。防衛省においては、回答内容について、誠意を持って対応していただけるものと考えています。
古田・住吉・中割	市長さん大変ですけど、馬毛島に基地はいらない。種子島は食に困らないステキな島です。平和を願います。平和・平和	貴重なご意見として承ります。今後も市民の皆様の不安等払しょくできるよう、防衛省と引き続き協議を重ねてまいります。
古田・住吉・中割	行政頑張れー！ご苦労様です。	今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
古田・住吉・中割	市長！うっちゃり期待してるからな TCMMY	今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
古田・住吉・中割	40年前ごろまでは馬毛島は漁獲も多い海域でした。立石産業の開発で汚水が流れ、海を濁した。昔のように宝島にしてほしい。アメリカの訓練は自国でやってほしい。中国・朝鮮には自国でミサイルを設置する方向で有事に備えるなど、威嚇の体制。種子島周辺で排気ガス・騒音で苦しめないで下さい。	防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであり、ご意見のように安心・安全など、市民においては、多大な不安があると捉えています。馬毛島問題に係る市民の不安が解消できるよう、引き続き防衛省と協議を重ねてまいります。
古田・住吉・中割	基地の設置が必要な説明が出来ていないと思います。正直に話していかないと、人は理解できなく、一生懸命説明しても信じられません。まだ基地は設置していないのに胸が痛いです。最後に質問された方の内容で、実際基地10km周囲で騒音測量を実施してほしいです。役員だけではなく、市民代表（賛成・反対の人）も入れてください。	ご指摘は真摯にお受けいたします。また、今後も市政発展のため、皆様のご意見を賜りながら尽力してまいります。
古田・住吉・中割	私はあくまでも基地誘致に反対です。基地ができ始めたら、先々明るい展望はありません。人間をはじめ、動植物の死活問題です。市長さん、どうか踏ん張ってください！！しかしながら、防衛省は強引に着々と進んでいます。仮に受け入れるとなるとなれば、一番に騒音問題です。それと市民が犠牲を払う代償としての交付金は市民に対してもその見返りは充分に考えていただきたいものです。どうか宜しくお願い致します。（榕城校区 女性60代）	防衛施設とは無縁であった地域に基地が整備される初のケースであり、ご意見のように安心・安全など、市民においては、多大な不安があると捉えています。馬毛島問題に係る市民の不安が解消できるよう、引き続き防衛省と協議を重ねてまいります。

古田・住吉・中割	漁業補償については、単発的に、単年度的に行えばこと足るものなのでしょうか。葉山周辺の工事により漁場そのものが失われていくように思われます。生業としている方達にとっては大問題です。後継者もいるかもしれませんが。そのことを思えば永代補償を行うくらいの補償が必要だと思います。そもそも好漁場を失うような工事をすべきでないと考えます。	港湾施設設置に伴う漁場消失により、漁業への影響はあると判断されます。 漁協においては、防衛省と漁業補償の協議を進めており、今後の漁業振興については、漁協の考えも踏まえながら対応していく必要があると判断しています。
古田・住吉・中割	国防については極めて重要なので、適切な条件を要望し、日本国民として協力すべきと考えます。	国防の重要性については認識しておりますので、市民の安心・安全を守る立場から総合的に勘案し、判断してまいりたいと思います。
古田・住吉・中割	・商売をされている方が「商工会は会長等賛成ばかりで、反対の意見を聞かれることはなかった」と言われていた。つまり商工会は会としての意見の聴取は行っていない。それ以外の団体もこういう形であったなら、そこで聞かれなかった声をどこでどのように聞くのか？ぜひ、聞かれることのなかった多くの声を、今一度聴いてから判断してほしい。 ・「『決まっている』の声があるが、私はそうは思わない」と市長は言われました。それが「同意できない」と発言されたあの言葉につながるものと信じたい。頼みます！	各団体での意見聴取では、代表者だけでなく、各団体によって、構成員の方にもご参加していただいたと認識しています。しかしながら、必ずしも格団体からの意見聴取において全ての意見を聞いたとは思っておらず、それ以外にも機会をとらえて市民の皆様からお話を聞かせていただきました。様々な意見を総合的に勘案して、判断してまいりたいと思います。
古田・住吉・中割	ここ7回の説明会において、いろいろな意見を聞いて、自分の考えを言うということですか？もうこれ以上先延ばしの発言はやめて！ 同意する/同意せざるを得ない/反対する/をはっきりして、これ以上の市民の分断をなくしてほしい。FCLPの訓練による騒音は、許容の範囲で四六時中あることでもないと思います。何よりも、小・中・高校生、これから生まれてくる子供たちの時代が、本当に平和な島、日本であるためには、どうしたら守れるのか？ 市長の決断によって、国・防衛省の地元に対する対応の仕方はどうなるか。このことに取り組んできた市長が一番理解しているのではないですか？ 市長の自己保全の発言をしている時はもうとっくに過ぎて、決断をする。それが今の市長の置かれている立場ではないのですか？	貴重なご意見として承ります。今後も市民の皆様の不安等払しょくできるよう、防衛省と引き続き協議を重ねてまいります。併せて、今般の説明会での市民の皆様のご意見も踏まえながら、しかるべき時期に市長としての一定の考えを示したいと思います。